



第 155 号

歳遊記

さいゆうき

【発行】
公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会
〒790-0843 松山市道後町2丁目9番14号
ひめぎんホール別館内
TEL 089-925-7424



新年のごあいさつ
(公財)愛媛県老人クラブ連合会
会長 鈴木 尊

新年明けましておめでとございませう。
会員の皆様にはお健やかに輝かしい新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年末の選挙で大勝した新政権は、経済の再生、戦後レジームからの脱却等を掲げ、内外の諸課題に積極的に取り組み、2020年のオリンピック招致の成功もあり、いくらか明るい展望が開けております。
ただ、このところの物価の上昇、本年四月からの消費税増税、加えて年金・医療・介護などの制度改革も行われ、私たち高齢者にとって大変厳しい状況になることが予測されます。しかしな



新年挨拶
愛媛県知事 中村 時広

新年明けましておめでとございませう。
皆様方におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

今年、本県では、三月から十月にかけて、広島県などと共同で広域観光イベント「瀬戸内しまのわ2014」を開催し、最終日の十月二十六日に、そのメインイベントとして、瀬戸内しまなみ海道を舞台に「万人規模の国際サイクリング大会」を予定しております。昨年十月には、このプレ大会と位置付けた「サイクリングしまなみ2013」を実施し、県内外から約

がら、社会保障制度の持続可能性が問われるなかで、私たちも制度を支える一員として、能力に応じた責任を果たし、高齢者の尊厳を守っていかねばなりません。

私たち老人クラブは、高齢者の健康づくりと仲間づくり、介護予防活動を基本に、環境美化、世代交流、ボランティアなど、幅広く地域社会に貢献する活動に取り組んでまいりました。いま、わが国は人口減少社会のなかで、七十五歳以上の人口の急激な増加が予測され、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になってきています。
閉じこもりを防ぎ、心のつながりを

二千六百名のサイクリストに参加いただきました。大会では、瀬戸内の自然美と橋梁の人工美の織り成す絶景はもとより、地域住民やボランティアの皆さんの心温まるおもてなし、沿道からの声援などによって、しまなみ海道の魅力、愛媛の良さを十分にアピールできただけでなく、関わったすべての方々に、自転車「健康」「生きがい」「友情」を与えてくれる「自転車新文化」を実感してもらえたのではないかと思っています。

一方、本県が目指す「高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿さひめ」の実現においても、この「健康」「生きがい」

深める友愛活動をもとに、住み慣れた地域で継続的に生活ができるよう、老人クラブのネットワークを活用した見守り、生活支援への期待も大きくなっています。従ってこれからは、健康づくりや相互支援の自助、共助の具体的な行動が求められる場面が多くなってくると思われまます。

県連では、昨年の四月から公益法人として再出発すると共に、八月には若手委員会を立ち上げました。このことは、予てからの懸案事項であり、喫緊の課題でもある会員増強と併せて若い高齢者の加入促進を目的とするものであります。これからは、より幅広い多面的で活力に満ちた活動を展開し、地域社会の福祉の向上に努めて参りたいと思っております。
おわりに、各単位老人クラブのますますの発展と会員皆様のご健勝とご多幸を、祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

どうか皆様方におかれましては、引き続き、こうした活動に取り組んでいただきますとともに、いつまでもお元気で、地域を支える担い手として活動の輪を広げられ、今後とも、本県の高齢者福祉の向上と地域活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

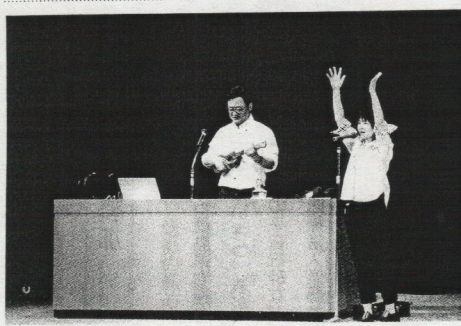
終わりに、公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会並びに各単位老人クラブのますますの御発展と、会員の皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。

第53回 愛媛県老人クラブ大会 —公益法人認可後初の大会—

去る九月六日、ひめぎんホールサパホールにて、県下市町老連から会員九百名が参加して第五十三回愛媛県老人クラブ大会が開催されました。

大会では、まず参加者全員による国歌斉唱のあと、物故された老人クラブ関係者に対し黙とうを捧げました。そして鈴木尊県老連会長の挨拶に続いて、老人クラブに貢献された個人、団体等に対する表彰が行われました。表彰の内訳は以下の通りです。(知事表彰として高齢者福祉関係功労者十四名、会長表彰として優良老人クラブ二十一クラブ、老人クラブ活動功労者四十二名、寝たきり老人優良介護者十二名、会員増強クラブ百十六クラブ)

式典の後は、現在、愛媛県認知症疾患医療センター 砥部病院のセンター長を務める中城有喜先生による「高齢者のこのころの健康―認知症について知ってもらいたいこと」と題する講演が行われました。この中で中城先生は、「かつて認知症が痴ほう症とよばれ、あきらめるしかなかった時代から、現代では医療、介護、行政は大きく様



わりしている。決して他人事ではない自分の問題として、認知症を正しく理解し適切なケアを受けることにより、自分らしく過ごす事も可能だ」と説き、講演の後半では、脳とこのころからだを刺激する効果的な方法として、随行の助手一名とともに歌を歌いながら、ゲームの要素を取り入れた体操を披露されました。またその際には、先生自らウクレレを演奏される場面もありました。

講演に続いて愛媛県警察本部生活安全企画課の佃警部補による振り込め詐欺に関する講話があり、愛媛県内における振り込め詐欺の被害額が昨年一年だけでも二億五千万円を超えているとして、あらためて参加者に対し注意喚起を呼び掛けました。

最後に、地域社会と連携して安心安全の地域づくりを推進し、若手リーダーの組織化に取り組むことなどを誓う大会宣言を採択して、大会は盛況裡に幕を閉じました。

愛媛県知事表彰受賞者氏名(敬称略) 十四名

- 松山市 栗下 義範
- 松山市 渡部耕四郎
- 今治市 阿部 幸子
- 今治市 丹下 禎
- 宇和島市 善家 茂
- 八幡浜市 井上奈美子
- 西条市 高橋 文子
- 西条市 松田 敏宏
- 大洲市 武田 守
- 大洲市 能仁 賢全
- 四国中央市 高橋 功
- 西予市 松本 秋雄
- 久万高原町 稲田 幸雄
- 松前町 鴻農 良恵

第53回愛媛県老人クラブ大会 大会宣言

老人クラブは、地域に自発的に生まれ、高齢者組織をもとに、戦後社会の混乱で大きな痛手を受けた高齢者の安らぎの場として、「老後の幸せは自らの手で作り出そう」を宣言葉に作られた自主的組織であり、その組織化のうねりはやがて全国に広がり、昭和三十年代半ばには、その数は一万を超えるまでになった。

昭和三十三年に愛媛県老人クラブ連合会が創立されてすでに半世紀、その間、老人福祉法の制定、老齢福祉年金の拡充や老人医療、介護保険制度の充実など、高齢者福祉の推進に寄与するとともに、地域においては高齢者の語らいの場、生きがいや健康づくりの拠り所として発展してきた。

本年四月一日、愛媛県老人クラブ連合会は公益財団法人として新たな節目を迎えた。

我々は、より高い公益法人としての義務と責任を自覚し、さらに地域の高齢者全体に活動の輪を広げる方向を目指して、引き続き地域社会の期待にこたえる活動を展開していかねばならない。

高齢者が社会的孤立に陥ることなく、安心・安全に暮らすための「居場所」として広く老人クラブを活用してもらえよう、若い世代とともに手を携へ、「新たな絆社会」の創造を目指すことが、これからの老人クラブに課された使命である。

本日、ここに集う老人クラブ代表者は、半世紀に受け継がれてきた活動に思いを馳せ、公益財団法人としての決意も新たに、次のことを宣言する。

記

- 一、クラブ五人増を目指し、会員一人ひとりが協力して会員増強に積極的に取り組もう
- 一、地域社会と連携し、安心・安心の地域づくりを推進しよう
- 一、「健康づくり活動」や「反愛活動」を地域社会へ普及・拡大させよう
- 一、若い世代にも魅力あるクラブづくりを目指し、若手リーダーの組織化に取り組もう
- 一、老人クラブ活動として、あらゆる機会を通じて交通安全活動を推進しよう

平成二十五年九月六日
第五十三回愛媛県老人クラブ大会

第42回全国老人クラブ大会開催!!

被災地より、クラブ復活を高くかいたうたいあげ

第四十二回全国老人クラブ大会が十一月一日・二日の両日若手県盛岡市で開催され、本県からは十三名が参加しました。第十二回に続く開催ですが、地元老連の、震災からの復活を会員の皆様に直に感じていただきたいとの思いから、二度目の開催の運びとなりました。

初日はテーマ別に五つの活動交流部会に分かれて活動事例発表や地元老連企画のパネルディスカッションが行われました。二日目は、被災地老連自主製作DVD上映の後、全老連から部会

報告が一括して行われ、伝統芸能「鹿踊」「鬼剣舞」のアトラクションを挟んで、式典が行われました。式典では若手県老連会長の挨拶にはじまり、全老連会長挨拶、表彰、来賓祝辞、大会宣言採択等が行われました。

- 一、日常生活を支援する「地域支援合い活動（友愛）」の推進
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

- 一、老人クラブの原点に立った「仲間づくり活動」の強化
- 一、健康長寿をめざす「健康づくり」

第55回四国老人クラブ大会

今年度は徳島県で開催、愛媛県から四十三名が参加



四国老人クラブ大会は八月一日に徳島県徳島市のあわぎんホール（徳島県郷土文化会館）にて開催されました。参加者は三百五十五名、本県からは四十三名が参加し、盛大な大会となりました。

ました。

大会は、大会長である徳島県老連の伊丹一夫会長の開会あいさつ、表彰、飯泉嘉門徳島県知事の来賓祝辞などの式典があり、続いて医療法人齋藤整形外科理事長の齋藤藤郎氏による記念講演「ロコモティブシンドロームとは「転倒予防」が行われました。そして、休憩をはさんで各県の活動事例発表があり、その後大会宣言を採択して閉会しました。

平成25年度中国・四国ブロック

老人クラブリーダー研修会

平成二十五年中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会が、六月二十七日・二十八日の二日間にわたって島根県松江市において開催され、本県からは三十五名が参加しました。初日は開会式に続いて全老連事務局長齋藤秀樹氏から「活性化計画の総括と今後に向けて」と題して要綱報告があり、その後四つの分科会に分かれての研修がありました。

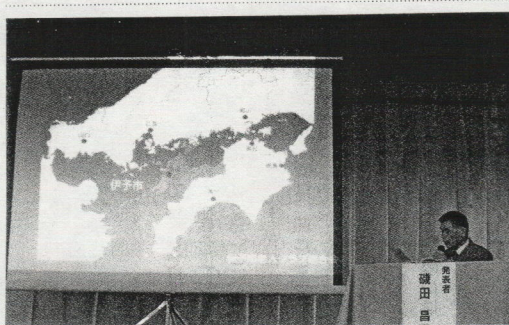
老人クラブの役割と老人クラブの存在価値」と題した講演や各分科会からの報告や質疑、講評等が行われました。来年度は愛媛県松山市での開催となります。

砥部町老人クラブ連合会の灘家信男会長が、砥部町における会員及びクラブ減少化へのとりくみについての発表を行いました。来年度は香川県で開催されます。

- 本県の
四国老人クラブ大会長表彰受章者
鈴木 尊（愛媛県老連会長
四国中央市会長）
- 新居田利忠（愛媛県老連副会長
今治市会長）
- 田坂正教（愛媛県老連前評議員
久万高原町前会長）



そのうち第二分科会では「地域支援合い活動の推進」をテーマに研究討議が行われ、そのなかで本県の伊予市老人クラブ連合会理事の磯田昌三さんが、双海地区において行われた友愛訪問活動の実践とその成果についての活動事例発表を行いました。



二日目は、島根大学名誉教授の北川泉氏による「地域活性化の一翼を担う

平成25年度愛媛県老人クラブ スポーツ大会の結果について



好天に恵まれた十月三十一日、愛媛県総合運動公園を会場に、五つの種目で優勝を争いました。事前に行いました「スポーツ大会実行委員会」で、クローケー競技の出場チーム枠を減らし

て、予選の試合数を増やせないかとの提案があり、話し合いの結果、出場チーム数を50チームから48チームに減らし、組み合わせを10グループ(1グループ5チーム)から12グループ(1グループ4チーム)の総当たり戦としました。開会式には、来賓として愛媛県知事 中村時広氏の代理で神野健一郎保健福祉部長が臨席され、祝辞をいただきました。

自分の体力知っていますか

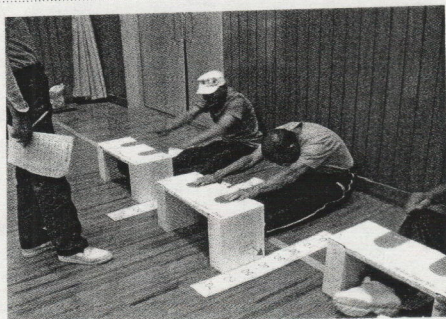
～体力測定啓発・普及モデル事業について～

椅子や床から立ち上がり、歩行ができ、外出することができ。健康で生きがいのある生活を過ごすためには、それに合う体力が必要です。その体力を保つためには、まず自分の体力を客観的に評価する必要があります。

高齢者の体力測定啓発・普及モデル事業は、二年間で四回、同じ人への体力測定を実施し、その結果で自分の弱いところをみつけ、体力の維持を図ることを目的に、平成十九年度から開催しています。県内二十市町のうち

十八市町が実施し、二町が現在継続中で松山市は一順目を実施しています。バランス良く体力があるのが理想ですが、腰痛、膝痛など故障のある方も多く、その部分をかばってしまつてことがあります。かばうばかりで使わなければ、体力はますます落ちてしまいます。体力向上とまではいかななくても、維持できるよう日常生活を工夫してみませんか。

町老連では用具の貸し出しも行っておりますので、興味のあるクラブは市



▽クローケーの部

優勝 御内B (宇和島市)

準優勝 鶴島 (宇和島市)

第三位 西野々 (鬼北町)

▽ゲートボールの部

優勝 久枝 (松山市)

準優勝 ザ・ひま人 (松山市)

第三位 三机 (伊方町)

▽グラウンドゴルフの部

優勝 小松一柳会 (西条市)

準優勝 祝森B (宇和島市)

第三位 神戸長寿会 (西条市)

▽ベタンの部

優勝 一万クラブ (松山市)

準優勝 土居老人クラブ (四国中央市)

第三位 宮前老友会A (松山市)

▽ワナゲの部

優勝 多賀 (西条市)

準優勝 牛刈A (東温市)

第三位 玉津第一チーム (西条市)

愛媛県老連健康づくり大学校

今年度は、八幡浜市保内にて実施

平成二十五年度は、八幡浜市中央公民館保内別館を会場に七月二十四日から十一月十九日の間(延べ十一日間・四十二時間)に開校しました。受講者



は八十名、内訳は男性三十七名・女性四十三名、平均年齢七十四・四歳の方々でした。単位不足の方十名を除き、九十歳から六十五歳の七十名の方が卒業され、本大学の卒業者は延べ六百十六名となりました。

ミカン産地での開催のため、時期を早めに終了すること半日で二講義することを前提に開催しましたが、どうしても農繁期に引つかかってしまいました。それでも、その合間を縫って熱心に参加していただきました。

卒業式の日、食事をしながら最後の班会を行い、その時に出た感想を拾ってみました。

・全体的にはよかったです
・時間的に、定期的に地域によって多忙
・今回の講義資料等を、地域老人会に活かしたい
・講義は回を増すことによく、自分達の視野が広がった
・班員は和気あいあい、良い出会いだった
・友達がいっぱいでできてうれしかった
・いつの日か集まり昼食会でもしたらという話が出ている
・同窓会を開いて班別の集いをしてはどうかなの声も
・地元の今昔話(昭和三十年代はカワウソがいた、新しくできた道の駅の話)
などの感想をいただきました。

地域に広げよう友愛の輪

～平成25年度高齢者相互支援事業について～

県老連は、引きこもりがちな高齢者を地域で支えるため、モデル地区を指定して友愛活動を行う「高齢者相互支援推進事業」を毎年実施しております。これは、老人クラブ会員が地域の一人暮らしや引きこもりがちな高齢者等を訪問して必要な情報を届けたり話し相手となったりして、地域社会の絆を保つとともに高齢者同士の支えあいの輪を広げていこうという活動です。

県老連では、今後事業を進めるにあたり中心的役割を担うシルバリーリーダーをモデル老連ごとに約二十名選任し、八月中旬から下旬にかけて、各モデル市町において相互支援推進連絡会議とリーダー養成セミナーを開催しました。

セミナーでは、シルバリーリーダーのみならず一般の会員も参加して、県生涯学習講師による講演や活動の進め方を丁寧に解説したビデオの上映が行われ、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。

また二月二十八日には、各モデル老



連のシルバリーリーダーが一堂に会し活動報告を行う「高齢者相互支援活動啓発セミナー」が、松山市のひめぎんホールにて開催されます。このセミナーでは、活動事例発表の他、兵庫県淡路島から池脇政子先生をお迎えし、地域助けあい活動についての講演も行われる予定です。

「終活」からみえる「人生」の学びとは

～平成25年度 県老連女性リーダー研修会開催～

平成二十五年度の県老連女性リーダー研修会が十二月十二日、ひめぎんホール別館第十一会議室において開催され、県下各地から女性リーダー八十一名が出席しました。

この世に生を受け、老いて死ぬ時はすべての我を手放して死んでいく」と語った言葉が特に印象的でした。

研修会はず高岡小夜子県老連女性委員長（伊予市）の開会挨拶で幕を開け、続いて『エンディングノート』

講演の後、高岡女性委員長の全国老人クラブ連合会女性リーダーセミナー及び女性委員会総会の参加報告が行われました。そして休憩をはさんで、松山東警察署交通第一課による「高齢者の交通事故防止について」と題する交通安全講習が行われました。ここで

最後までその人らしく生きるために『エンディングノート』の学びと施設での看取りケアからの学びから」と題する講演が行われました。講師は、新居浜市の特養老人ホームアソカ園の施設長をこの六月末まで務められ、現在は認知症介護研修講師として活躍されておられる森川隆先生です。

交通ルールを順守することです。そしてなにより、これくらい大丈夫、自分は大丈夫という「思い込み」を捨てるのが事故防止につながるのだと、あらためて気づかされたのでした。

近年注目を浴びている「終活」ですが、森川先生は講演の中で「どのような死を迎えたいかを考える事は、すなわち自らの生き方そのものを振り返ること。エンディングノートを書く事で、家族や大切な人に対する愛情と感謝を伝えることができる。内から湧き出る感謝の念は人を幸せにしてくれる」と話されました。また、高齢者介護施設でのケアに長年携わってきた「自身の経験から、「人が老いて生命の火が消えるように静かに死んでいく姿は本当に美しく、生命が誕生する瞬間と同じ

歩いて愛媛県内で初めて導入された歩行シミュレーターを使つての実習が行われました。この歩行シミュレーターでは、夕暮れ時や雨天、夜間と霧など、あらゆる条件下での道路横断を実際に体験することが出来ます。参加者は、普段気ななく行っていた道路の横断も条件によってはいかに難しく危険な事であるかを目の当たりにして一様に驚いていました。高齢になると視野が狭くなり、身体能力も落ちるの

は仕方ない事です。しかし大切な事は、その事実を自覚して、より一層余裕のある行動を心がける、また当然のことですが交通ルールを順守することです。そしてなにより、これくらい大丈夫、自分は大丈夫という「思い込み」を捨てるのが事故防止につながるのだと、あらためて気づかされたのでした。

研修会終了後、参加者からは「大変有意義で身につまされた。」「エンディングノートを書く必要性を感じた。」などの声が多く寄せられ、大層好評でした。中には「死に対する不安が和らいだ」という感想もありました。皆それぞれに思うところがあつたようです。

今回の研修会で字んだことを、皆さんの生活や地元での活動に活かし、また周囲の方々にも伝えていっていただければと思います。

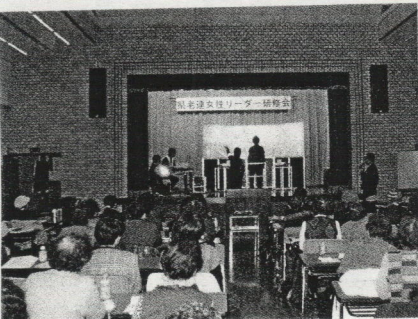
ねんりんピックよさこい高知2013 地域文化伝承館開催される

ねんりんピックよさこい高知 2013 地域文化伝承館が十月二十六日～十月二十八日までの三日間、高知市の高知ちばさんセンターにて盛大に開催されました。

地域文化伝承館は老人クラブ連合会が主催するもので、高齢者がその経験や技術を生かして取り組んでいる様々な地域文化・生活文化を実演・展示を通して披露するとともに、地域に伝わる郷土芸能や老人クラブ等が日頃取り組んでいる多彩な活動を紹介・発表し、高齢者組織や活動に関する理解を高める事を目的とするイベントです。

会場には高知県内の市町村老人クラブが出演したブースが所狭しと立ち並び、和紙の小物作りやシャッフルボードの体験等、多くの人で賑わっていました。

二十七日日曜日のステージには、今



続いて愛媛県内で初めて導入された歩行シミュレーターを使つての実習が行われました。この歩行シミュレーターでは、夕暮れ時や雨天、夜間と霧など、あらゆる条件下での道路横断を実際に体験することが出来ます。参加者は、普段気ななく行っていた道路の横断も条件によってはいかに難しく危険な事であるかを目の当たりにして一様に驚いていました。高齢になると視野が狭くなり、身体能力も落ちるの



ねんりんピックよさこい高知2013 地域文化伝承館開催される

会場には高知県内の市町村老人クラブが出演したブースが所狭しと立ち並び、和紙の小物作りやシャッフルボードの体験等、多くの人で賑わっていました。

平成25年10月1日改定 平成25年9月1日以降のお申込みから適用

老人クラブ傷害保険

日常生活で高い事故率 (老人クラブ活動中以外の事故) 普通傷害保険事故率の **2倍以上になる 6%**

えっ!! **なんと2倍以上**

一般データ(※1)	2.8%
総合型データ(※2)	6.0%

事故発生率(%)

総合型 クラブ活動型

〈クラブ活動型〉+〈24時間型〉

24時間いつでも、どこでもケガが心配という方におすすめ

年間掛金 3,500円・5,000円・10,000円

クラブの行事や活動によく出かけるという方におすすめ

年間掛金 500円・1,000円・2,000円

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

03-3597-8770

受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝祭日休)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768 FAX番号 03-3597-8767

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日発給以降用)」「重要事項説明書」にご加入の際の注意事項をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全連保険課ホームページ(http://www.senior-ld.com/)でもご確認いただけます。

回愛媛県から唯一参加した鬼北町の「愛治ちばさんクラブ」が登場し、コミカルな歌や踊り、友人はだしの目事な演奏で並みいる観客を魅了し、大いに客席を沸かせていました。

その他、健康フェアや健康福祉機器展なども開催され、各種の健康相談や介護体験コーナー等も充実しており、大変な盛況ぶりでした。

若手委員会がついに始動！ 第1回県老連若手委員会

平成二十五年八月二十三日(金) 午後一時四十分より、ひめぎんホール第十三会議室において、愛媛県老連若手委員会の記念すべき第一回会合が開かれました。参加したのは、各市町老人クラブ連合会から推薦された若手委員二十名と、同じく市町老連からオブザーバーとして参加された十一名の方々です。

最初に愛媛県老連会長である鈴木尊会長の挨拶があり、続いて出席した委員が各自自己紹介を行いました。その後議題に移り、最初に、本県における若手委員会の立ち上げに長らく尽力してこられた、佐々木秋由前県老連会長による基調説明が行われました。

この中で佐々木前会長は、「全国的に会員減少に歯止めがかからず、この状況を打破するには、若い会員の獲得を集中的に行う必要がある。しかしながら、高齢の役員が若い世代を勧誘するのは世代間ギャップがありすぎて難しい。そこで若い世代に活躍の場をあたえ、クラブの中心で積極的に活動してもらおうと、一部の先進地が数年前から取り組み始めた。その後、全老連が会員増強計画の一環として推奨したことで、全国的に組織化の機運が高まり、現在では二十以上の都道府県に広がっている。」と若手委員会組織化の経緯について説明しました。そして「組織というものは、五名活動家がいれば五十名動かせる。単位クラブに五名、市町老連で二十〜三十名、高齢者や地域社会のお役に立とうという人がいれば、そのクラブは立派な活動が出来るだろう。この若手委員会もこういう役割を持つか十分協議して、それを地元で活かし、それぞれの市町老連や単位クラブに、二十名から三十名の動ける若い力を作ることが重要だ。」と話されました。



その後、質疑に入り、若手委員会の活動をどのように会員増強につなげていくかについて活発な意見交換が行われました。そして最後に、若手委員会委員長に新居浜市の山本守氏、副委員長に松山市の植木紀代氏、宇和島市の岡田映光氏をそれぞれ互選し、第一回若手委員会は閉会しました。なお、次回の会合は会員増強部会と合同で二月十九日(水)に開催予定です。

スポーツ振興部会報告

(平成二十五年年度からは、「健康づくり推進振興部会」に名称変更)

「愛媛県老人クラブスポーツ大会」では、クロッケー、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、ワナゲの五競技を行っており、いろいろな団体にそれぞれの競技の運営をお願いしています。

この中で、クロッケー競技については前日に会場の準備をしなければ大会当日の試合開始には間に合わないというところで、ずっと中予地区の一部の市町老連に交代で運営をしていただいております。しかし、同じ市町老連に何年も続けてお願いするのも無理なところ。また、大会が始まった際にクロッケー競技における主管団体を取り決めた経緯などについて、当時の様子を記した資料もありません。そこで今後の運営について一定のルールを作っておこうと平成二十五年三月一日に話し合いを持ちました。

- 平成25、26年度 久万高原町老連
 - 平成27、28年度 松山市高連
 - 平成29、30年度 松前町
 - 平成31、32年度 東温市
 - 平成33、34年度 砥部町
 - 平成35、36年度 伊予市
- 以後この繰り返し
運営に当たる市町老連の方、どうかよろしくお願いいたします。

会員章を胸に

老人クラブ活動強化資金造成のために
全国老会会員章の普及をはかりましょう。

お申し込みは市町老連事務局へ…一口 1,000円

略称 未広鶴と日の丸
意味 鶴(高齢者)が両翼を扇(未広)状に広げて、日章(日本)を担っている図。すなわち高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭を支えてきたものであることを表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えね活動意欲を象徴する。
色彩 内側の円(日章)が赤。外側が鶴で白。外周線は金色。

愛媛県老人クラブ連合会 編集

みんなでうたう 愛唱歌集

●定価はお手頃700円(税込)。送料は2冊まで350円
3冊以上まとめて申し込まれると無料になります。
★お問い合わせは愛媛県老人クラブ連合会事務局へ。

発行 教育図書株式会社

振り込め詐欺

高齢者の被害多し!

あわてない! 1人で判断しない! 相談する!

愛媛県内において、高齢者を狙った詐欺が多発しています。特に、高齢者が狙われやすい詐欺の手口は、次の3つです。

- ①息子や孫を装い「急にお金が必要になった」と言って騙す「オレオレ詐欺」、
- ②市役所職員等を装い、医療費や保険料の払い戻しがあると偽りATMへ誘導させる「還付金詐欺」、
- ③株や社債、外国通貨購入等によるもうけ話を持ちかける「利殖勧誘詐欺」です。お金の絡む電話がかかってきたら、まずは一呼吸おいて、「もしかして詐欺かも!？」と身構え、家族や警察に相談しましょう。

~効果の高い被害防止対策~

在宅時も 留守番電話 に設定

あんしん♪



犯人と直接話しをしないため、時間と気持ちに余裕が生まれます。お金を振り込む前に家族に確認、警察に相談をしましょう。

愛媛県警察総合相談窓口 089-931-9110

公益財団法人 愛媛県老人クラブ連合会役員及び評議員

会長	鈴木 尊	四国中央市老連会長	評議員	藤田良登	今治市老連副会長
副会長	新居田利忠	今治市老連会長	〃	平田忠士	西条市老連会長
〃	橋本政雄	東温市老連会長	〃	今村 旭	松山市高連副会長
〃	高田 宥	鬼北町老連会長	〃	竹井史一	久万高原町老連会長
〃	高岡小夜子	女性委員会委員長 (伊予市)	〃	山口口夫	松前町老連会長
常務理事	岡田 修	県老連事務局長	〃	灘家信男	砥部町老連会長
理事	沖 則文	新居浜市老連会長	〃	岡 誠	宇和島市老連会長
〃	松田政留	上島町老連会長	〃	能仁賢全	大洲市老連会長
〃	篠崎英夫	松山市高連会長	〃	井原喜久男	内子町老連会長
〃	武田 弘	伊予市老連会長	〃	渡辺信昭	伊方町老連会長
〃	沖本敏春	八幡浜市老連会長	〃	岡本恒夫	松野町老連会長
〃	松本秋雄	西予市老連会長	〃	増田嘉明	愛南町老連会長
監事	森 憲宣	県社協常務理事	〃	北ヤヨ子	女性委員会副委員長 (西条市)
〃	矢野之祥	元愛媛銀行非常勤監査役	〃	酒井スナヲ	女性委員会副委員長 (八幡浜市)

愛媛県老連は、『公益財団法人』へ移行しました

財団法人愛媛県老人クラブ連合会は、平成二十五年四月一日付で新たに「公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会」としてスタートしました。

明治二十九年の民法制定以来百余年にわたり抜本的な見直しが行われず、時代の変化に対応できなくなっていた公益法人制度ですが、平成二十年十二

月に制度改正が行われ、これまでの公益法人はすべて「特例民法法人」となり、平成二十五年十一月末までに公益法人が一般法人のどちらかに移行、もしくは解散しなくてはならなくなりました。

この度本会は、名実ともに公益法人と認められ、地域や行政からも高い信

頼を得られる団体となりました。

公益財団法人となったことで、愛媛県老連には、公益団体としてのより高い義務と責任を果たすとともに、これまで以上に地域の高齢者の福祉増進に貢献することが求められます。市町老連、各単位クラブにおかれましても、なお一層、会員以外の高齢者をも対象にした活動や、老人クラブが「地域の高齢者広場」としての役割を担えるような取り組みをお願いいたします。

なお、平成二十五年六月二十日以降の公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会役員は、別表の通りです。

平成26年度 主な行事予定

- 中国四国ブロック老人クラブリーダー研修会愛媛大会
日時：平成26年7月3日・4日
- 第56回四国老人クラブ大会(香川県)
日時：平成26年8月5日(火)
- 第54回愛媛県老人クラブ大会
日時：平成26年9月4日(木)
- 第43回全国老人クラブ大会(大分県別府市)
日時：平成26年11月13日・14日
- 愛媛県老人クラブスポーツ大会
日時：平成26年10月下旬(未定)
- 愛媛県老連健康づくり大学校
開催予定地：東温市

事務局のつらやき

明けましておめでとうございませう。平成二十五年度版「愛媛県老連だより歳遊記」を皆様にお届けいたします。本年度も引き続きよろしくお願ひ申しあげます。

さて、平成二十五年度に私の記憶に一番残ったのは全国老人クラブ大会後の被災地視察でした。

今回の大会は東日本大震災の被災地、岩手県での開催でした。県都盛岡市ではさほど震災の影響を感じませんでした。大会後の視察で行った陸前高田市は大変衝撃的でした。

ガイドの方が、「ここは役所で、こちらは市民会館。そう案内してくれますが、全く想像がつかみません。なぜならそこにはただただ更地が広がっているだけです。

テレビの向こうからだけでは決して感じることはできない現地の空気感。「大変でしたね」などと軽く言っ

てはいけない雰囲気、二年たった今もそこにはありません。

高さ十五m長さ数キロの黒い水の壁が時速五十kmで自分に迫ってくる、その恐怖はやはり経験した方ではないと分らないでしょう。避難の際、一番後ろを走っていた小学生は、その背中を押してくれる感触に、先生に言われていた「振り返らずに逃げろ」の忠告も忘れ、思わず振り返ると、お婆さんがその子の背中を力いっぱい押しつけて、「ご自分は津波に吞まれていったぞです。その小学生は一年たつてからやっとそのことをご両親に打ち明けたぞです、建物の被害もさることながら、各々に受けた傷の大きさも計り知れないものがあ

るようになります。私たちにできることは、決して忘れないこと。そして、折に触れ東北の復興を気にかけること。

人が作ったものは全部壊れてしまったけれど、美しい自然は残っています。皆さまぜひまたいらしてください。そう言われたガイドさんの言葉が、立ち直ろうとする東北の方々共通の想いかもしれません。(◎)



発行予定 平成26年3月

泣いて、笑って、昭和の子育て

おばあちゃん世代の育児体験記

泣いて、笑って、昭和の子育て

全国から寄せられた応募作品の中から全83篇を掲載 A5判・200頁

私たちが若い世代への贈り物。

「おばあちゃん」といわれる私たち。子育てをとおしてさまざま体験をしました。「泣いて、笑った」あのころを振り返り、若い世代への贈り物にしたいと思えます。かなじ世代、若い世代、多くのみなさまの手に取っていただければ幸いです。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

- 定価
- ①平成26年3月まで
■1,050円(税込・本体1,000円)
 - ②平成26年4月～平成27年9月
■1,080円(税込・本体1,000円)

申込み・問い合わせ
公益財団法人 全国老人クラブ連合会
〒100-8917
東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル
電話：03-3581-5658
FAX：03-3597-9447